



石神井南中学校 学校だより

平成29年度 第8号
発行日12月11日(月)
練馬区立石神井南中学校
校長 児島泰彦

— 進路に向けて —

12月に入り寒い日が続きますが、保護者の皆様はいかがお過ごしですか。特に3年生の保護者の皆様は卒業後の進路に向けて、日々心配事が尽きないことでしょうか。私も子を持つ親として皆様と同じ経験をしてきました。過ぎてしまえば懐かしく思い出されますが、今まさにその時を迎えていることと思います。先週三者面談を終え、ある程度の方向性は定まったことと思います。しかしまだまだいろいろ考えなければならないこともあると思います。ぜひ遠慮せず担任や学年の教員にご相談ください。こんな事聞いていいのかと迷うこともあると思いますが、聞かないで後悔するよりも聞いて確認していくの方が大切です。教員もベテランから若手までいろいろありますが、全員で情報を共有しながら話し合い、皆様へお話をさせていただいています。すぐに答えられないものも必ず進路指導主任・学年の教員で確認してお答えしていきます。進路指導は進路指導主任を中心に学校体制で進めていき、最終的には校長が判断して決めていきます。悩みを1人で抱え込まず、遠慮せずにご相談いたたき、生徒たちの将来を一緒に考え応援していきましょう。

<道徳朝礼>

— 命をいただく —

日頃、私たちは基本的に朝・昼・晩と食事をしています。朝と晩は大抵の場合は家の方が食事を準備してくれて、できたものを目の前にして「いただきます」と言ってから食べているでしょう。昼は学校では給食が用意されています。毎日行われていることは自然と当たり前のことになっています。私たちは出されたものを食べるだけですが、でもそれは誰かが必ず調理をして用意してくれたものです。人それぞれ好き嫌いがあつたりするので残してしまうこともあるかもしれません。ただ、自分で調理をしたときなどは、苦手な食材があつても意外と食べることができることもあります。

毎日のことであるからこそ、食事を作ってくれる人に感謝の気持ちを込めて、残さずに食べることも大切なのではないのでしょうか。家でもそうだと思いますが、給食は中学生の皆さんが摂取しなければならないカロリーや栄養素のことなど、バランスを考えた献立がしっかり立てられています。皆さんが一律に同じ量を食べなければいけないということではないですが、各クラスに配られたものをぜひ残さずに食べてほしいと思います。

先生が前に勤務していた学校では、食育について生徒たちが学んでいました。それはたまたま学校の周りに野菜を生産している農場がいくつもあつて協力していただける体制があつたからです。ある時期には、生育が早い小松菜を1年生全員で農場に行つて苗付けを行い、育つた小松菜を給食で調理してもらつていただいたりしました。また、農場で取れた小麦を使つて、毎年うどん作りも行いました。自分たちで作つたうどんは太さが違つたり堅かつたり柔らかかつたりいろいろあるのですが、それも手作りだからこそ。みんな笑顔で食べ完食していました。一番印象に残っているのは、豚の飼育です。生まれて数ヶ月

の子豚を農場で飼育しているのですが、その子豚にみんなで名前を付けます。豚は1年たつ前に加工されます。みんなで名前を付けたその豚を給食で食べるのです。先生もさすがに食べる前に子豚の姿が目に見えびました。私たちが毎日食べているものは、そうした命あるものをいただいているということなのです。「いただきます」という言葉には、「命をいただく」という意味が込められています。だからこそ、出されたものを残さずいただくという気持ちが大切なのではないでしょうか。石南中では残念ながらそのような活動はできませんがその思いは感じ取れるはずです。これからご飯を食べるときは、そんなことも考えながら感謝の気持ちをもって食事をしてください。

荒川選手がやって来た (オリンピック・パラリンピック講演会)

11月8日(水)元女子サッカー日本代表フォワードの荒川恵理子さんが本校に来校され、楽しいお話とボールを使った運動などを行っていただきました。荒川選手は区内にある豊玉中学校の卒業生で、中学在学中に読売ベレーザ(日テレベレーザ)の下部組織に入り、高校生の時に昇格して読売ベレーザの選手として活躍。さらにアテネ、北京の2つのオリンピックで活躍されました。独特のヘアから‘ボンバー’とも呼ばれる人気者です。ただ選手としては怪我との戦いで女子サッカーがW杯で優勝した時も怪我のため代表選手から外れ、くやしい思いをしたことなど詳しくお話していただきました。本校の勝山先生とは豊玉中学校時代の恩師と生徒の間柄で当時の勝山先生についても面白おかしく生徒の前でお話していただき、勝山先生も少し照れていたようでした。その後ボールを使ってのゲームなどもしていただき、アツという間に2時間が過ぎてしまいました。その時の様子については本校のホームページにも記載されていますので、ぜひご覧ください。



練馬区中学校駅伝大会

12月2日(土)今年も中学校駅伝大会が光が丘陸上競技場をスタート・ゴール地点として開催されました。第16回目を迎えるこの大会は、男子が第1区は2.6524km、第2区～第6区がそれぞれ2.252km。女子が第1区～第6区まで2.3kmの周回コースを走ります。今回は男子が50チーム、女子は46チームがエントリーし、9:00に女子が、10:20に男



子がスタートしました。本校は1. 2年生チームで出場、各校のエースが揃う第1区では激しい首位争いをしながら本校は6位でタスキを繋ぎ、続く2区からはなんとかこの位置をキープしながらチャンスをうかがいました。しかし陸上部などで普段から練習をしている学校は強く、徐々に順位を落しながらも粘り抜き、見事8位に入賞することができました。この勢いで男子も好スタートをきり、第1区で6位をキープ、続く2区で3位まで順位を上げるとその後は3位、4位を上げ下げしながらアンカーへ、アンカーも抜きつ抜かれつの大接戦を演じながらなんとか3位を守り、4大会ぶりのメダルを獲得することができました。さらに11:30からスタートとした個人走でも男子は82名中3位と8位に、女子も64名中3位と8位に入り、こちらも入賞することができました。この快挙に応援に来ていた保護者の皆さん、係としてお手伝いをしてくれたPTA役員さんたちも大感激、目に涙を浮かべる人もいたようです。今年も感動した駅伝大会になりました。

キンボール大会

駅伝がおこなわれた同日、本校の体育館を使って青少年育成委員会主催のキンボール大会が今年もおこなわれました。小学生の部と中学生の部で分かれ、そこに青少年委員会の皆さん、下石小の先生方そして石南中の先生方も加わって賑やかな大会となりました。試合は3チームが一緒にコートに入り、ゼッケンの色でコールされたチームがキンボールという大きな柔らかいボールを落とさないようにしていくもので、もし落としてしまうと一緒に戦っている他チームのポイントになってしまうというものでした。最初はやり方になれるまで時間がかかりましたが、なれてしまうとみんな真剣にボールを落とさないようにコート内を走り回っていました。全部で15試合おこなわれましたが、どの試合も熱戦でお母さんたちから〇〇先生がんばってと黄色い声の跳ぶ場面もありました。終わった後は参加した選手に参加賞が配られ、楽しい一日を過ごすことができました。



クリーン運動

11月27日(月)から30日(木)にかけて今年度のクリーン運動がおこなわれました。朝7時35分に集合し、みんなで西門・東門とその周辺に落ちている落ち葉掃きをおこないました。今年は11月の中旬に校内の木々の剪定があり、切り取った枝や落ち葉を掃除していたので、例年より落ち葉の数が少なくなりました。しかし参加した生徒たちは敷地内だけでなく、道路に落ちている落ち葉もきれいに掃き取ってくれました。12月4日(月)から8日(金)までは生徒会が引き続きクリーン運動をおこなってくれました。こちらも熱心に落ち葉掃きをしてくれました。おかげで学校の周りは今とてもきれいです。皆さんどうもありがとう。



石南中の生徒の活躍

税の作文 練馬西納税貯蓄組合連合会優秀賞

『一人一人が開拓者』 西川 琉生 君 (3年)
『私達の当然を作る、支える税』 小林 開 君 (3年)
『「税」から考える世界平和』 黒田 日奈子 さん (3年)

税の標語

優秀賞 『その税で愛する町をつくり出す』 早津 拓真 君 (2年)
佳作 『あなたの税安心快適町つくる』 平井 七聖 さん (2年)

練馬区独立70周年記念 第11回 自分で作る朝ごはんコンクール

銅賞 廣田 瑠菜さん (1年) 小木曾 紅音さん (2年)
奨励賞 森田 楓子さん (1年) 吉田 弥央さん (1年)
中森 唯華さん (1年)
宇都宮 涼志君 (2年) 横山 茉紀さん (2年)
佐伯 慎之佑君 (2年) 清成 心春さん (2年)
黒岩 達也君 (2年) 平井 七聖さん (2年)

第16回 練馬区中学校駅伝大会

男子 第3位 伊藤 陽人君 高瀬 由祐君 南 和秀君
石田 航輝君 槌井 天晴君 成田 匠君
女子 第8位 棚田 梨愛さん 吉田 彩葉さん 小田嶋 結香さん
井上 香南さん 坂田 菜々さん 長澤 紅里さん
個人走 男子 第3位 小泉 健太郎君 第8位 八木 優斗君
女子 第3位 臼井 美紗希さん 第8位 今村 あかりさん

子どもたちを健やかに育てる運動推進カレンダー原画

入選 梶栗 栄花さん 菅野 紗良さん

平成29年度ジュニアリーダー養成講習会中級

皆勤賞 関 洗瑛君

